

1	委員からの意見・質問など	バックヤードが狭くなるが、店舗面積が増えることで品物も増えると思うので、外に置かないよう注意をすること。また、バックヤードが狭くなると荷捌きスペースに車が停まるとさらに狭くなるので、奥の車が出られなくなるため、品物を外に置かないこと。
	事業者からの説明	ご意見のとおり、計画的な在庫管理を実施し、外売場の商品以外を外に置きません。(別添1参照)
2	委員からの意見・質問など	建物西側に冬季一時堆積があり、奥の車がバックヤードを通過して外に出るには難しいので、安全に注意した方がよい。
	事業者からの説明	ご意見のとおり、堆積場に関しては、雪山のまま放置せず、計画的な排雪を行い交通安全の確保を図ります。(別添1参照)
3	委員からの意見・質問など	荷捌き施設②は不定期の宅配便だが、荷捌き施設②を使用する場合は、出入口①から入庫するルールにできないか。
	事業者からの説明	宅配業者に出入口①から入庫するようにルールとして周知させて運営します。(別添1参照)
4	委員からの意見・質問など	近隣住民とあまりうまく行っていないということはないのか。
	事業者からの説明	駐車場の月極駐車場の契約者に対する周知の前に、大店立地法の説明会を開催したことが原因で、説明会で月極駐車場に関する質問が集中しましたが、説明会后、契約者に対して個別に説明し、ご理解をいただいております。また、近隣の方々からの日頃のご意見等については、店舗責任者が個別に対応しておりますが、これまでのところ大きなトラブルは生じておりません。
5	委員からの意見・質問など	今回、出入口②を移設するとのことだが、出入口①も交通規格的にも非常に危険なので移設した方がよいのではないのか。道路があとから出来たとのことだが、移設を検討してほしい。
	事業者からの説明	出入口①に関しては、函館市と協議を重ねており、現在の位置でやむを得ないが、交差点注意等の注意喚起を行い、交通安全に配慮することの回答を得ており、注意喚起表示をすることとしております。これまでのところ、出入口①において交通事故の発生はありませんが、今後、店舗を運営していく上で、交通安全上危険であると判断した際には、出入口①の位置を検討して参ります。
6	委員からの意見・質問など	旧大川中学校の跡地が公営住宅となると聞いており、店舗周辺の交通量も増えるものと思われるが、届出駐車場台数90台で大丈夫か。今すぐ対応する必要はないが、今後、周辺地域の人口と交通量の状況把握を行ってほしい。
	事業者からの説明	駐車場台数は現状では90台で不足することはないと考えます。届出90台のほかに従業員駐車場や冬季堆積場合わせて34台あり、合計124台の駐車が可能でありますので、今後の店舗周辺の住環境の変化に伴い、店舗への来客が増加した際には、この駐車スペース34台をお客様にご利用いただくこととします。また、今後、店舗の駐車場への入庫待ちなどが発生する程の混雑を招く状況が継続した場合には、駐車場計画の再検討のため、交通量調査等の実施を検討して参ります。(別添1参照)
7	委員からの意見・質問など	この地域は、住宅が後から出来たので入り組んでおり、店舗に行くには迷うこともある。
	事業者からの説明	幹線道路の東西南北には店舗へ誘導する案内板を設置しておりますが、個別のチラシを発行する際には来客経路を掲載するなど周知を図ります。(別添2参照)

1	<p>委員からの意見・質問など</p> <p>事業者からの説明</p>	<p>駐車場台数は指針での計算通り43台を整備することになっているが、住民説明会の意見にもあるように、函館競馬開催時の無断駐車や近隣には整形外科や大きな病院もあり、ゲートもないことから店舗利用者以外が駐車するかもしれない。駐車場台数のキャパに大きな懸念がある。また、店舗の規模に対して、現在の従業員用駐車台数は3台しかなく少な過ぎるのではないかと。今後、近隣地域で確保する予定とあるが、確定ではない。さらに、降雪時期になれば、駐車場に堆積するのであれば、駐車台数が少なくなり不便が生じるのではないかと。</p> <p>近隣施設の利用者が店舗駐車場を利用しないよう、社員による巡回により長時間無断駐車する車はナンバーを控え、常習的な方にはワイパーに警告の紙を挟むなどの対応をするほか、函館競馬の開催日は事前に承知できることから、開催日には警備員や社員による無断駐車対策に充分留意します。また、来客駐車場の確保が最大利益ですので、隔地従業員駐車場の確保、従業員の自動車通勤規制、逐次排雪による来客駐車場の確保を図ります。ちなみに、従業員駐車場は、既に近隣に18台を確保しているほか、近隣の空き地でも交渉中です。</p>
2	<p>委員からの意見・質問など</p> <p>事業者からの説明</p>	<p>出入口①が非常に交差点に近く、裏側に病院もある。この交差点は朝晩は混んでいるので、右折入庫は厳しいと思う。</p> <p>交通量調査結果から、店舗に出入庫するピーク時間は11時から12時をピークとして推計しており、出入口①に右折入庫する来客自動車は24台/ピーク時、出入口①から右折出庫する来客自動車は53台/ピーク時と推計されます。交差点信号待ちの際は来客自動車だけでなく一般交通も滞留しますが、信号が青になり一般交通が流れると滞留することはないと考えます。別添「5. 計画店舗駐車場出入口①における右折車に関する検討等」は、平成30年9月30日(日)に道道函館南茅部線と放射4-1号線交差点で実施した交通量調査結果を基にし、社団法人交通工学研究会「改訂平面交差設計基礎編第3版」による右折交通容量を計算したものです。その結果(1)では日吉ヶ丘通からの右折入庫の右折交通容量が1,107台/ピーク時となり、推計した右折入庫来客自動車24台/ピーク時は十分に少なくなります。また、(2)では右折出庫を同様の方法で推計し右折交通容量が225台/ピーク時となることから、推計した右折出庫来客自動車53台/ピーク時は充分少なくなります。よって入庫とも交通障害を発生することはないものと考えます。(別添1参照)</p>
3	<p>委員からの意見・質問など</p> <p>事業者からの説明</p>	<p>駐車場の台数も43台で、また、駐輪場も多く設けているということは、自動車による来店はそれほど多くないと見込んでいるということか。(商圈も1km圏内)</p> <p>マックスバリュ既存他店舗の運営実績から、市街地立地店舗は郊外型立地店舗に比べて、自転車や徒歩での来店が多い傾向です。また、マックスバリュでは店舗面積2,000㎡が標準ですが、深堀店は1,289㎡と小規模であり来店範囲も1km圏内とそれほど広くは見込んでおりません。(別添2参照)</p>
4	<p>委員からの意見・質問など</p> <p>事業者からの説明</p>	<p>等価騒音レベルの予測で予測高さが、1.5m、4.5m、7.5mと設定している理由はなにか。</p> <p>予測対象を住宅とした場合、1階の窓の高さが1.5m、2階の窓の高さが4.5m、3階の窓の高さが7.5mに相当します。予測地点1及び2では室外機や排気など高い位置に設置された騒音源の影響が大きく、予測対象は2階建て住宅なので高さ4.5mを予測地点としています。予測地点3は昼間は駐車場からの騒音の影響が大きいため高さ1.5mを夜間は室外機と排気の影響が大きいため高さ4.5mを予測地点としています。また、予測地点4は高い位置に設置された室外機の騒音の影響が大きく予測対象は、3階建て住宅なので高さ7.5mを予測地点としています。(別添3参照)</p>
5	<p>委員からの意見・質問など</p> <p>事業者からの説明</p>	<p>道道函館南茅部線西側から入庫する際、手前のバス停にバスが停車した場合、バスを超えて入庫することになるが、入口手前にある植樹で見通しが悪くなる心配はないか。</p> <p>入口①には、「入口」という表示を自動車運転手から見やすい高さで位置を検討し、設置します。また、オープン時にはチラシにより、案内経路を周知するとともに、歩行者や自転車等に注意を促すよう交通安全に努めます。</p>

6	委員からの意見・質問など	従業員駐車場が冬季堆積場を兼ねているが、歩道の近くに堆積して大丈夫か。溶けた雪が歩道側に流れることも考えられる。従業員駐車場を西側に移動するなど、歩行者の安全に配慮してほしい。
	事業者からの説明	冬季堆積場という表現をしていますが、除雪後の一時的な堆積場所であって、時間をおかずに逐次排雪を行って来客用駐車場を確保します。

7	委員からの意見・質問など	届出の開店では、早朝から買い物される方は多くないと思うが、通勤・通学時間やバスの運行もある。実際にこの時間帯で開店閉店するのか。
	事業者からの説明	基本的な営業時間は午前9時～午後9時45分と考えていますが、来客の需要によっては、午前7時に開店することもあります。他の既存店舗でも早朝の来客は多くありませんが、近隣にご迷惑がかからないよう営業時間に合わせて必要な対策を講じながら運営しております。

8	委員からの意見・質問など	参考までに、同じような交通量の多い近隣の店舗であるマックスバリュ柏木店の駐車場台数と実際の駐車台数がどの程度あるかデータをもらえないか。同じような環境であるので、このあたりの店舗は、本当に徒歩での利用が多いということであれば、駐車場台数は43台で足りると判断できる。
	事業者からの説明	柏木店は、指針による必要台数の算定をすると86台となりますが、実際の駐車台数は、店舗前に13台、店舗裏に23台の合計36台となっております。特売日はほぼ満車に近い35台/ピーク時の来客自動車台数の利用がありますが、通常のピーク時の駐車台数は30台となっており、周辺道路交通に著しい影響を与えることにはなっていません。また、駐輪場は30台と比較的多めの駐輪台数となっております。(別添4参照)